

中野区立小中学校再編計画（第2次）改定案に係る
パブリック・コメント手続の実施結果について

1 意見募集期間

令和2年10月20日から令和2年11月9日まで

2 提出方法別意見提出者数

提出方法	人(団体)数
電子メール	1
ファクシミリ	
郵送	1
窓口	
合計	2

3 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	<p>教員は大変忙しくなっているが、本来、生徒とよく話し理解することが理想だ。いじめや自殺が増えないように、中野の学校を楽しいものにするために良い方法を考えてほしい。</p>	<p>教員が児童・生徒と向き合う時間を十分に確保し、学校教育の質の向上を図るため、「中野区立学校における働き方改革推進プラン」を策定し、教員の負担軽減などに取り組んでいる。</p>
2	<p>「中野区立学校の適正規模適正配置の基本的な考え方及び具体的方策について（平成12年1月中野区立学校適正規模適正配置審議会答申）」が生かされることなく、中野区立小中学校再編計画により、一方的に小規模校の解消、中規模校化への統合再編を進めてきた。学校再編が始まって10年以上経過しているが、この間、学校再編の問題点や課題について検証されていない。</p> <p>また、鷺宮小学校は、立地条件の良さも大きな意味を持っているのに、この好条件を捨てて統廃合を進める理由が疑問である。</p>	<p>適正規模適正配置の検討にあたり、審議会の答申を受け、教育委員会事務局内でさらに検討をした結果、小中学校の望ましい規模を小学校12学級から18学級程度、中学校9学級から15学級を目指すとした。第2次再編計画策定時に前期再編計画の検証を行っており、第2次再編計画以降も検証を行い、施設整備計画の検討、通学区域の変更、通学区域の変更の一部見直しを実施している。</p> <p>鷺宮小学校と西中野小学校については、適正規模を確保するため、通学区域のほぼ中央に位置する第八中学校の位置で統合を行うものである。</p>